

# The EBARA

報告書 | 2018年1月1日 — 2018年12月31日

巻頭  
特集

暮らしを支える縁の下の力持ち  
標準ポンプ事業を知る

Looking ahead, going beyond expectations  
*Ahead > Beyond*

# The EBARA

報告書 | 2018年1月1日 - 2018年12月31日

## 目次

- 01 イントロダクション
- 03 巻頭特集

「暮らしを支える緑の下の力持ち 標準ポンプ事業を知る」



- 05 トップメッセージ



- 07 セグメント情報



- 09 海外展開

- 10 トピックス



- 11 ステークホルダーとの関わり

- 13 財務情報

- 14 企業情報

詳しい業績情報は  
当社WEBサイトへ



<https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>

## 創業の精神「熱と誠」



与えられた仕事をただこなすのではなく、  
自ら創意工夫する熱意で取り組み、  
誠心誠意これをやり遂げる心をもって仕事をすること。  
そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば、  
相手に通じないことはない。

## 企業理念

水と空気と環境の分野で、優れた技術と  
最良のサービスを提供することにより、  
広く社会に貢献する。

## ブランドステートメント

Looking ahead,  
going beyond expectations

*Ahead Beyond*

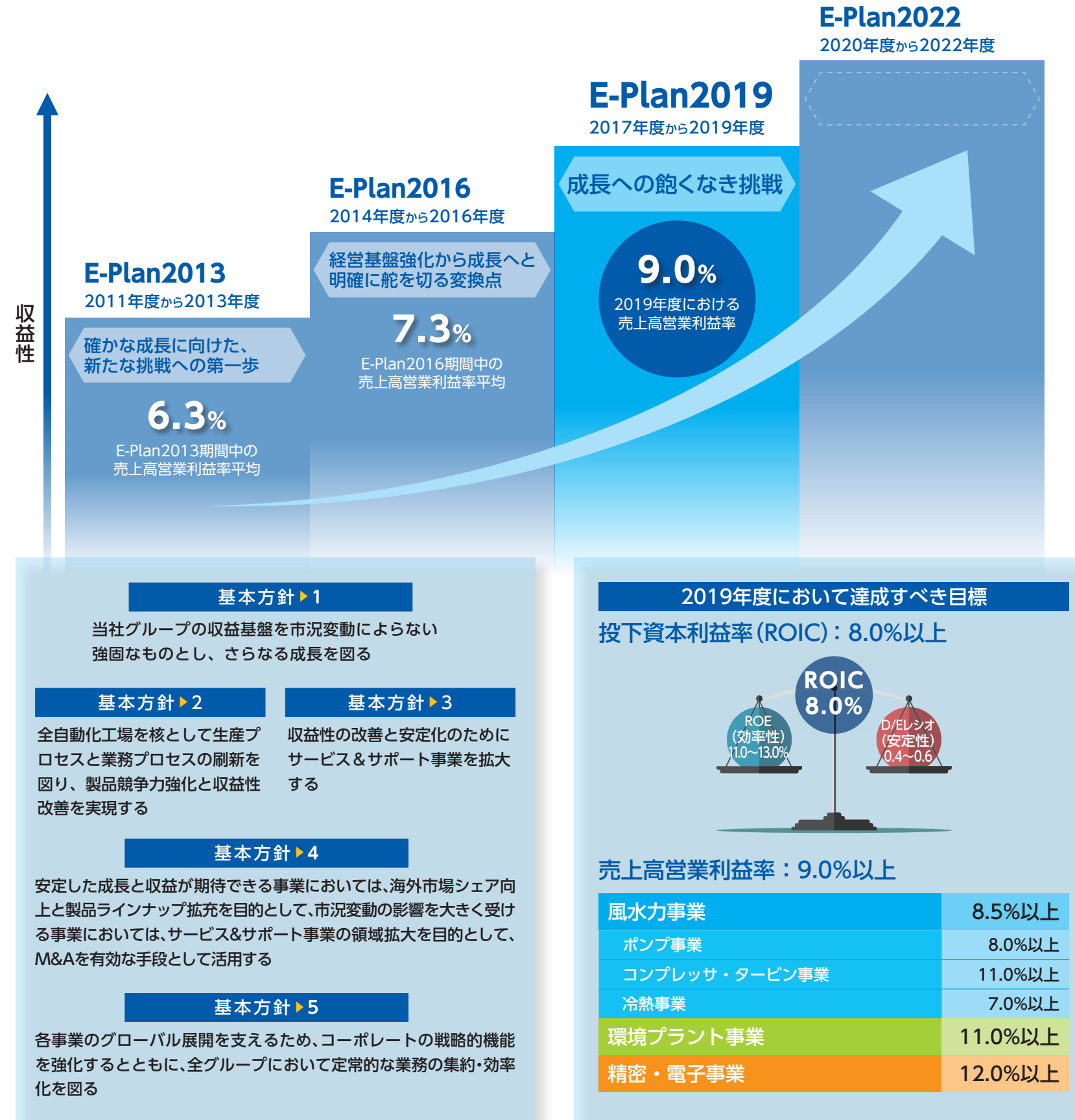
業界を牽引するリーディングカンパニーとして、期待  
や想像を超える製品やソリューションをご提供してい  
きます。また、“Ahead, Beyond”には、決して現状に満足  
することなく、常にさらなる高みを目指し挑戦し続ける  
当社の企業精神も込められています。

# 中期経営計画 [E-Plan2019] 成長への

世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカーへとさらなる  
全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長へ

# 飽くなき挑戦

発展を目指すために、  
の飽くなき挑戦」を実行していきます。

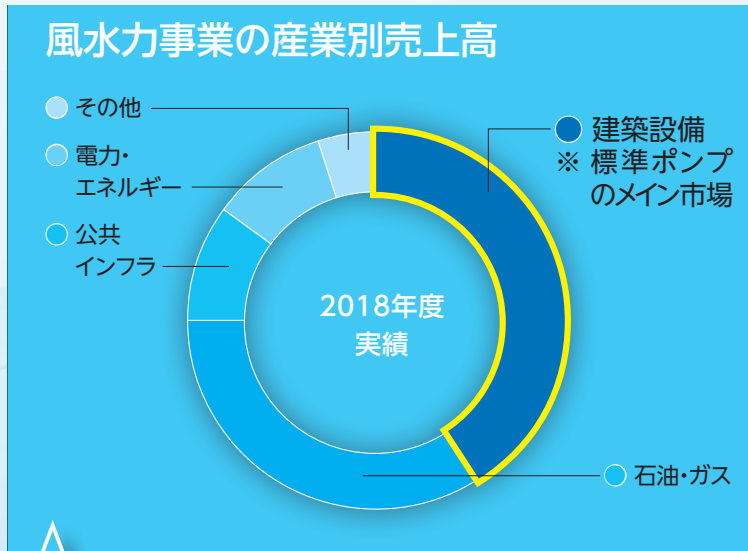


暮らしを支える縁の下の力持ち

# 標準ポンプ事業を知る

私たちは、暮らしの中で当たり前のように水を使用していますが、水を使用するためにはきたコア技術を土台にして、販売網やサポート体制、協力会社とのパートナーシップを

ポンプの力が不可欠です。当社は、創業の精神である「熱と誠」を胸に、創業から100年以上研鑽して築き上げてきました。現在、標準ポンプ事業は、市場環境に合わせた新たな取組を実施しています。

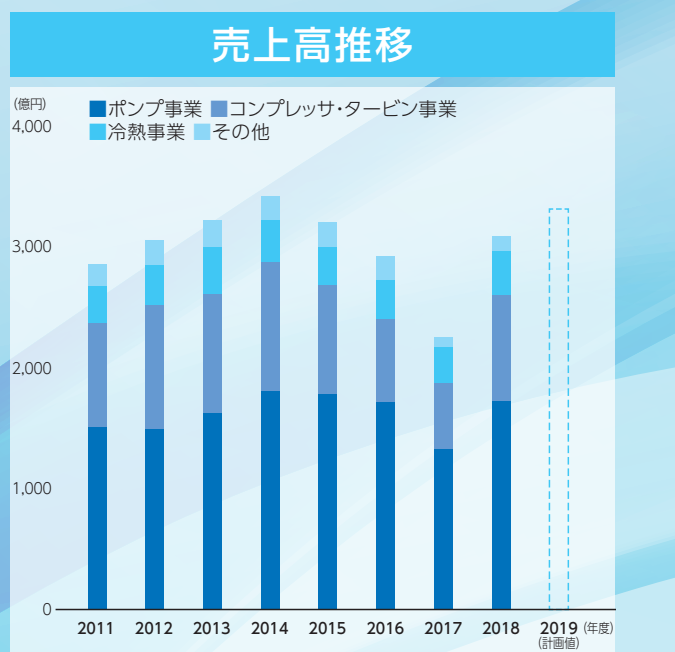


標準ポンプ事業	標準化された量産型のポンプ	カスタムポンプ事業
納入例:六本木ヒルズ森タワー	納入例:コロッセオ(イタリア)	お客様のニーズに合わせた、受注生産型のポンプ
横型多段ポンプMS型	ラインポンプLPD型	高圧ポンプHDB型
飲料水やトイレの水を送り出す ビル内の温度調整のための冷水や温水を送り出す	立体多段プレスポンプEVM型 高圧水を噴射し、凹凸に入り込んだ汚れを飛ばす	発電所や石油化学プラントで高温・高圧の液体を輸送する



## Pick Up 標準ポンプ事業

## 標準ポンプ事業の市場環境と当社の取組



国内	海外
<p><b>国内シェアトップ</b>を維持しつつ<b>収益の最大化</b>を目指す</p> <p>市場環境: 人口減少傾向、国内ポンプ市場は安定的に推移</p> <p>施策: 機種数を10分の1に削減、業務の効率化、生産体制の抜本的な見直し、自動組み立てラインの稼働を開始</p>	<p><b>海外シェア拡大</b>により<b>売上規模拡大</b>を目指す</p> <p>市場環境: 人口増加傾向、新興国の生活水準向上による水需要の増加</p> <p>施策: 新製品の継続的な投入、販売拠点の拡充、サプライチェーンの拡充</p> <p>南アフリカに拠点を新設、ブラジルのポンプ子会社を統合、イタリアのポンプ工場の生産能力を増強</p>



# Message from Management

トップメッセージ

## 第154期の業績について

第154期における世界経済は、中国景気の減速や米国の通商問題を巡る影響により下振れリスクが顕在化したものの、全体としては緩やかに回復しました。当社の事業環境においても、通商問題、原油価格の低迷、半導体メモリメーカーの投資延期といった懸念事項がありましたが、石油化学産業では投資水準の回復が継続し、半導体産業においても比較的高い投資水準が維持されました。

このような事業環境のもと、当社グループの受注高は、風水力事業、環境プラント事業、精密・電子事業のいずれも前年度同一期間を上回りました。売上高は、環境プラント事業が減少したものの、風水力事業と精密・電子事業の増加により、前年度同一期間を上回りました。営業利益は、主に風水力事業の減少により前年度同一期間を下回りました。

この結果、第154期の売上高は5,091億75百万円(前年度同一期間比0.3%増)、営業利益は324億82百万円(前年度同一期間比11.4%減)、経常利益は312億81百万円(前年度同一期間比11.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は減損損失の計上などにより182億62百万円(前年度同一期間比19.9%減)となりました。

## 中期経営計画「E-Plan2019」の進捗について

E-Plan2019の2年目は、各事業における施策の進捗は概ね順調で、利益への貢献もありますが、各事業において外部環境の回復遅れや悪化、一時的な内部のマイナス要因があり、収益性の改善にはつながりませんでした。この結果、グループ全体の経営指標であるROICは4.9%、売上高営業利益率は6.4%という結果になりました。

E-Plan2019最終年度となる第155期の業績は、増収増益となる見通しですが、E-Plan2019の目標の達成時期は遅れる見込みです。引き続き、売上高営業利益率改善に向けた施策の確実な実施と、資本効率改善を進め、2020年以降の成長につなげていきます。

当社は、事業のグローバル化が進展する中、業績等経営情報の開示のさらなる適時・適正化を図るため、前連結会計年度より当社及び従来3月決算であった連結子会社の決算日を3月31日から12月31日に変更し、当社と連結子会社の決算日を12月31日に統一しました。

増減については「前年度同一期間」との比較で記載しています。(前年度同一期間とは、当連結会計年度に対応する期間(2017年1月1日から2017年12月31日まで)を指します。)



取締役会長

前田 東一

前田東一は、2019年3月28日付で、取締役会長に就任いたしました。

## 株主還元について

当社は株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、株主還元については、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針としています。

この方針に基づき、第154期の期末配当は、1株当たり30円とさせていただきます。この結果、中間配当金30円と合わせ、当期の年間配当金は1株につき60円となりました。

また、第154期は、50億円の自己株式を取得しました。第155期も150億円の自己株式の取得を予定しています。

## 新社長 就任のお知らせ

2019年3月28日付で、代表執行役社長に浅見正男が就任いたしました。

### 略 歴

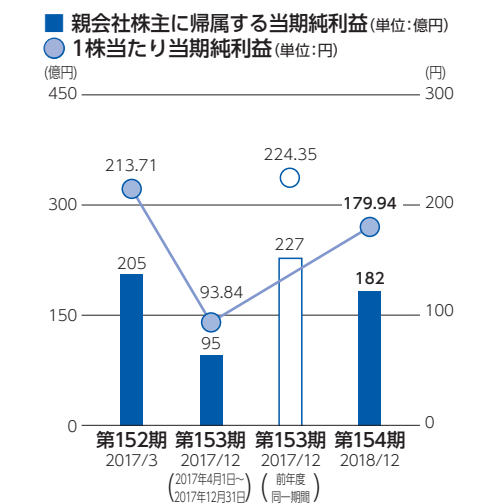
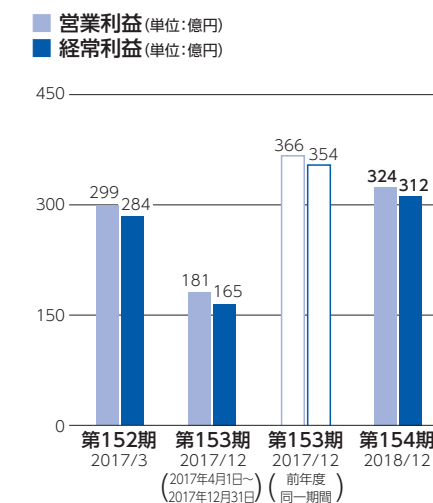
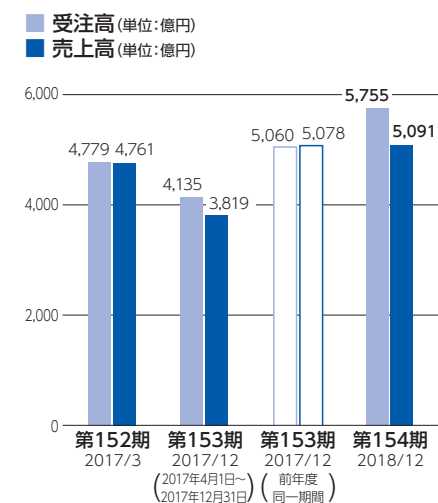
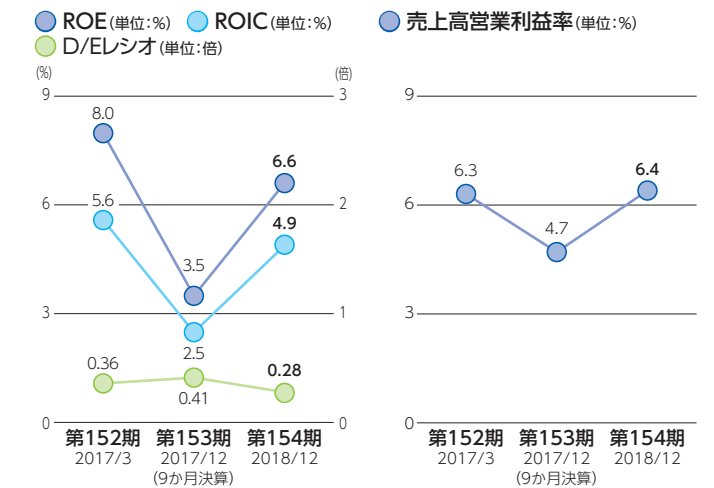
生年月日 1960年 4月7日  
 主要職歴 1986年 4月 当社入社  
 2010年 4月 執行役員  
 2011年 4月 精密・電子事業カンパニー営業統括部長  
 2014年 4月 常務執行役員  
 2015年 6月 執行役常務  
 2016年 4月 精密・電子事業カンパニープレジデント  
 2019年 3月 取締役 代表執行役社長(現在)

代表執行役社長 浅見 正男

## 連結業績ハイライト

受注高	5,755億円	前年度同一期間比	13.7%	▲
売上高	5,091億円	前年度同一期間比	0.3%	▲
営業利益	324億円	前年度同一期間比	△11.4%	▲
経常利益	312億円	前年度同一期間比	△11.8%	▲
親会社株主に帰属する当期純利益	182億円	前年度同一期間比	△19.9%	▲
1株当たり当期純利益	179.94円	前年度同一期間比	—	▲
1株当たり年間配当金	60円	—	—	—

内訳 中間配当金：30円 期末配当金：30円



\* 増減については「前年度同一期間」との比較で記載しています。(前年度同一期間とは、当連結会計年度(2018年1月1日から2018年12月31日まで)に対応する期間(2017年1月1日から2017年12月31日まで)を指します。)

\* 2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。1株当たり当期純利益は、第152期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。



## 風水力事業

**売上高** 3,089億円  
前年度同一期間比 1.6%増

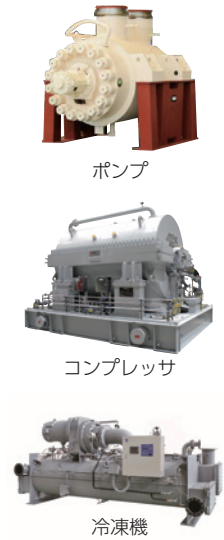
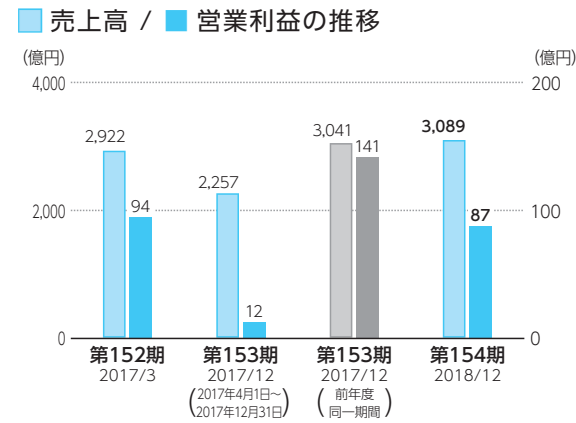
**営業利益** 87億円  
前年度同一期間比 38.2%減

**主要製品**

ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷凍機、冷却塔、送風機

**POINT**

- コンプレッサ・タービン事業の受注拡大に伴い増収。(+)
  - 標準ポンプ事業の売上が海外を中心に堅調に推移。(+)
    - カスタムポンプ事業での不具合対応やコンプレッサ・タービン事業などの一過性要因により減収。(-)



### ● イタリアのポンプ工場の生産能力を強化

風水力事業のグループ会社「EBARA Pumps Europe S.p.A」は、成長を続ける世界ポンプ市場での事業拡大を目指し、ポンプ生産工場をイタリア・ヴィチエンツァ県内に移転させました。新工場は、敷地面積を旧工場の約2倍(50,000m<sup>2</sup>)に拡大し、生産能力を約1.5倍に増強させました。さらに、これまでの外部物流倉庫を新工場へ一体化させることにより、効率的な生産・配送体制を構築しました。

当社は、約30年前からイタリアに拠点を構え、主要製品であるステンレスプレスポンプを全世界に供給しています。今後も、最適な地域に必要な生産能力を備えることにより、グローバル生産・供給体制を強化してまいります。



新工場全景

## 環境プラント事業

**売上高** 628億円  
前年度同一期間比 10.2%減

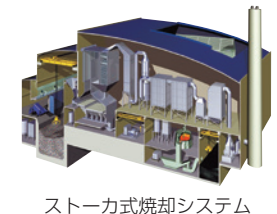
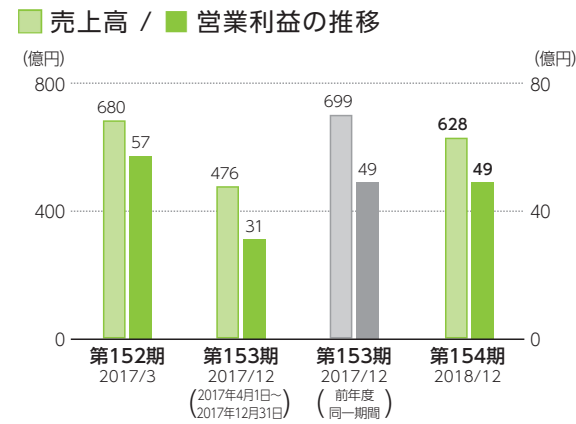
**営業利益** 49億円  
前年度同一期間比 0.9%減

**主要製品**

都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

**POINT**

- 運転管理・メンテナンスを行うO&Mの構成比率が増加。(+)
  - プラントの設計・調達・建設を行うEPC案件が減少し、減収。(-)
  - 中国の製造子会社で一部事業撤退に伴う損失を計上。(-)



### ● AI、IoTを活用した廃棄物処理施設向け運営サービスを開始

環境プラント事業では、2018年9月までに廃棄物処理施設の遠隔運転支援を目的とした「藤沢遠隔サポートセンター」と、施設運営の技術的支援を目的とした「羽田テクニカルサポートセンター」を開設し、AI、IoTを駆使した当社独自の次世代型施設運営サービスを開始しました。

近年、一般廃棄物処理施設の市場において、施設運営の民間委託化や長期包括契約が進んでおり、さらなる安定化や省資源化に向けた、民間企業ならではの高度な施設運営が求められています。そのニーズに応えるため、当社が持つ豊富な施設運営ノウハウとAI、IoTなどの先端技術を融合し、運転支援や技術指導、機器の故障診断などを遠隔で行う次世代型施設運営サービスの取組を強化しています。

今後も、このような取組を通じ、付加価値の高い施設運営サービスを提供することで循環型社会形成に対する貢献をさらに深めてまいります。



羽田テクニカルサポートセンター



藤沢遠隔サポートセンター

## 精密・電子事業

**売上高** 1,357億円  
前年度同一期間比 2.8%増

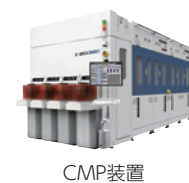
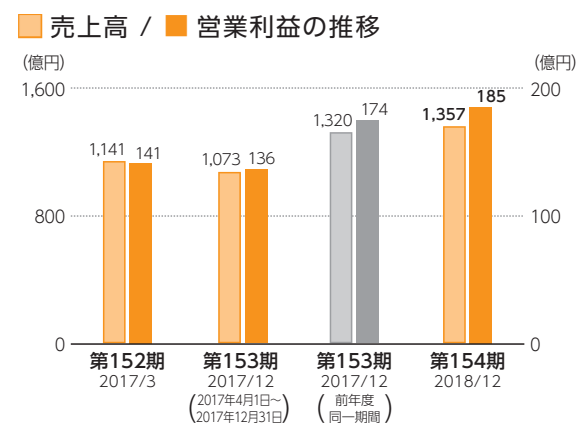
**営業利益** 185億円  
前年度同一期間比 6.6%増

**主要製品**

真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

**POINT**

- 半導体市場の設備投資は、メモリ向けを中心に堅調に推移し、CMP事業、コンポーネント事業共に増加。(+)
  - 人件費や研究開発費を中心に固定費が増加したものの、増収の影響により増益。(+)



### ● コンポーネント事業の開発力強化に向けて実験開発棟の建設を開始

精密・電子事業は、2018年11月から、藤沢事業所内に主力製品であるドライ真空ポンプと排ガス処理装置の新たな実験開発棟(V6棟)の建設を開始しました。V6棟は、フロア面積及び自動試験機の数従来から2倍以上に拡張し、お客様の使用環境を再現するプロセス設備や新製品デモルームを設置します。また、IoT技術を活用した試験データ計測システムを整備します。

今後も、需要拡大が予測される半導体製造設備向けを中心に、真空排気系の環境負荷低減・グリーン化を進める幅広い産業に対して、ドライ真空ポンプと排ガス処理装置の開発設備と体制を強化し、多種多様な要望に合致した製品をタイムリーにご提供できるよう注力してまいります。

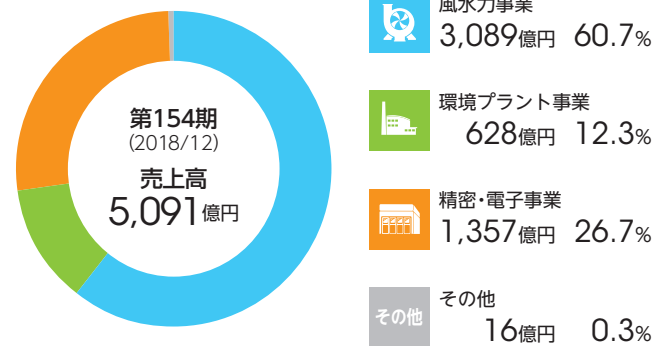


2019年6月竣工予定のV6棟完成予想図

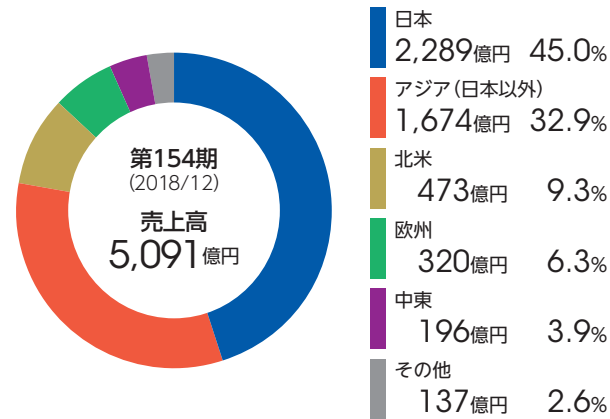
# Global View

海外展開 (2018年12月31日現在)

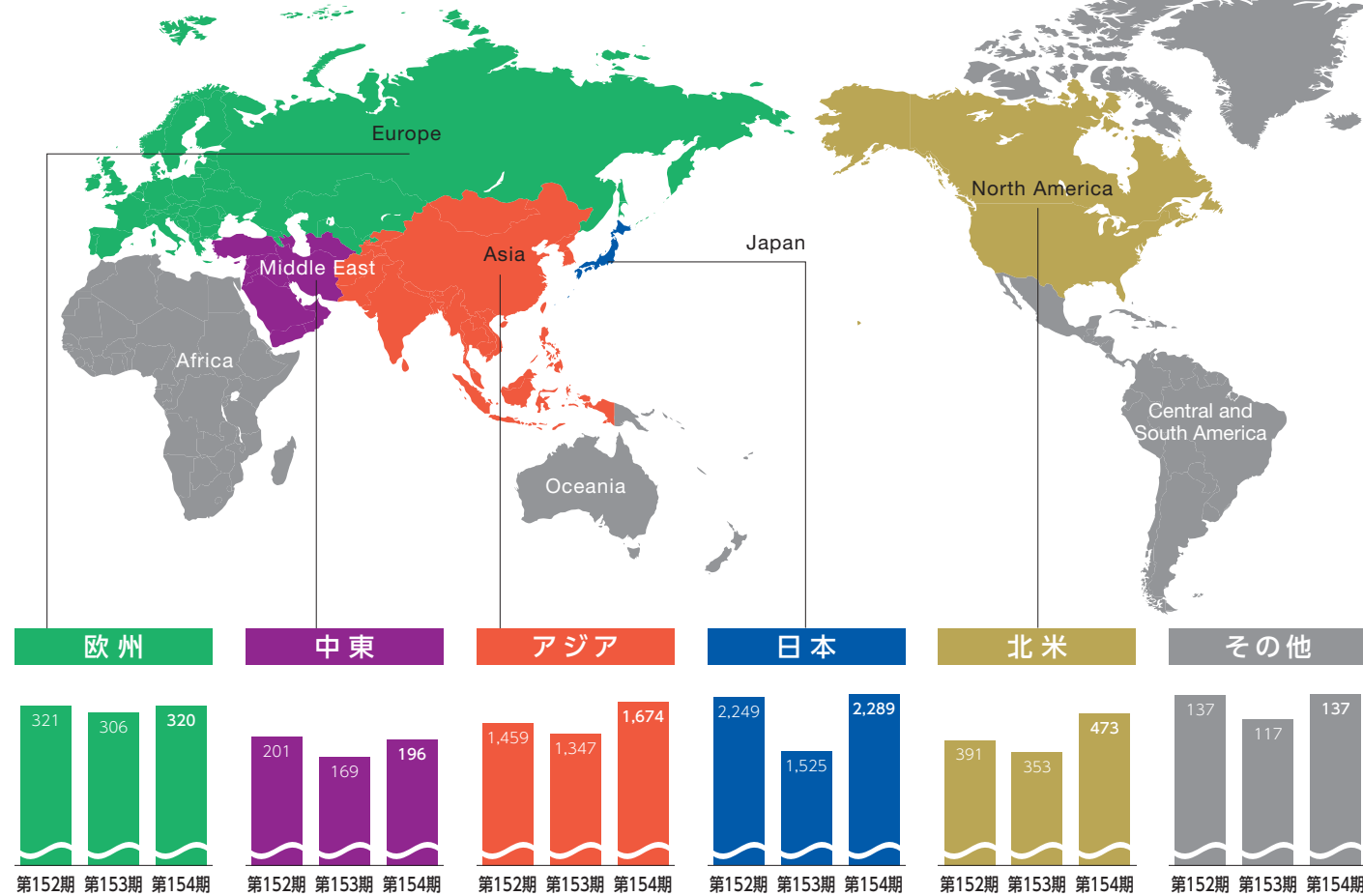
## 事業別連結売上高



## 地域別連結売上高



## 地域別売上高の推移 (単位:億円)



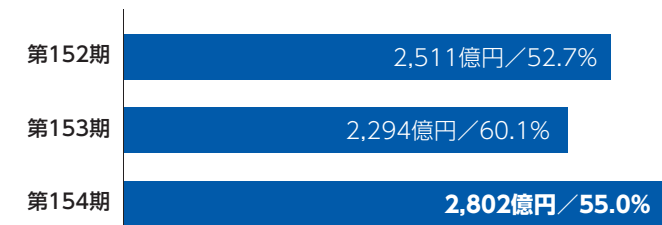
## 国内・海外の関係会社数

96社

海外	
関係会社	64社
● アジア	32社
● 北米	8社
● 欧州	10社
● 中東	5社
● その他	9社
国内	
関係会社	32社

## 海外売上高 / 海外売上比率

2,802億円 / 55.0%



※第153期は、決算期変更により、2017年4月から2017年12月までの9か月間となります。

# Topical News

トピックス

## 荏原グループの動き (2018年7月 → 2018年12月)

- 7 JUL**
  - 下水道展'18北九州へ出展
  - 箕面市環境クリーンセンター長期包括運営事業受注
  - テレワーク・デイズに参加 **詳細は11ページをご覧ください**
- 8 AUG**
  - テレビ番組提供(バース・デイ及びパンパシ水泳)
  - 競泳日本代表メダリストの表敬訪問
  - タイでポンプの技術セミナーを実施
- 9 SEP**
  - ブラジルのポンプ子会社を統合
  - 日刊工業新聞社主催「第21回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」で新冷媒ターボ冷凍機が審査委員会特別賞を受賞
  - 酒田地区広域行政組合ごみ焼却施設基幹的設備改良工事受注
  - 2018年度 第1回 個人株主様向け見学会を実施
  - 羽田テクニカルサポートセンターを開設し廃棄物処理施設運営の技術的支援を開始
- 10 OCT**
  - 2018年度 第2回 個人株主様向け見学会を実施
  - ベトナムでポンプの技術セミナーを実施
- 11 NOV**
  - 藤沢事業所内にドライ真空ポンプと排ガス処理装置の実験開発棟の建設を開始
  - 久慈地域連合久慈地区ごみ焼却場基幹的設備改良工事受注
  - 堺市上下水道局より、台風の大雨で破損した下水道管の早期復旧に貢献したことに対する感謝状を授与
  - 統合報告書を発行
  - 鈴鹿市にドライ真空ポンプの修理工場の建設を開始
- 12 DEC**
  - 第16回高校生科学技術チャレンジJSEC2018に協賛
  - 新型空冷式ドライ真空ポンプ(EV-PA型)販売開始
  - 大月バイオマス発電所運転開始
  - TSMC社から7年連続“Excellent Performance Award”を受賞
  - ミャンマーのヤンゴン技術科学大学にポンプを寄贈



下水道展'18北九州の様子



第21回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞贈賞式の様子



ベトナムでのポンプ技術セミナー風景



ドライ真空ポンプ修理工場の完成予想図



ドライ真空ポンプ EV-PA型



ヤンゴン技術科学大学に寄贈したポンプ

## IRカレンダー





### 地域・社会とのコミュニケーション

#### 畠山記念館について

当社の創業者である、畠山一清(号・即翁)愛蔵の美術品を受け継いだ畠山記念館は、1964年に開館以来、茶の湯の美術館として親しまれています。収蔵品は、国宝6件、重要文化財33件を含む約1,300件です。春は苑内の樹齢100年を越す枝垂桜が花盛りを迎え、秋から冬にかけては紅葉が見頃となり、展示室からお楽しみいただけます。当社グループは畠山記念館を後援しています。

2018年度下期は以下の展覧会を開催し、大勢の方にお運びいただきました。  
 秋季展 10月～12月「生誕150年 原三溪 一茶と美術へのまなざし」  
 冬季展 1月～3月「光悦と光琳 一琳派の美」  
 詳しくは、当記念館のホームページをご参照ください。



国宝 禅機図断簡 因陀羅筆 楚石梵琦賛  
元時代  
(2018年度 秋季展に出演しました)



紅葵花時絵硯箱 尾形光琳作  
江戸時代  
(2018年度 冬季展に出演しました)

#### 休館のお知らせ

大規模改築工事のため、2019年3月17日(日)まで開催しておりました冬季展をもってしばらく休館いたします。リニューアルオープンの日程が決まりましたら、当記念館のホームページでお知らせいたします。

#### 畠山記念館

〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12

TEL 03-3447-5787

<http://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/>

### 従業員との関わり

#### 働き方改革/就業環境整備と多様な働き方の検討

当社は、中期経営計画E-Plan2019の基本方針の中で「働き方改革を含む企業風土改革の実行」を掲げ、改革の実現に向けた施策に取り組んでいます。今後も、従業員に対し時間制約の意識を持った働き方を考える機会を提供していきます。



社内サテライトオフィスに勤務する従業員

#### テレワークの推進

2018年7月に開催されたテレワーク・デイズに、特別協力団体として参加しました。また、11月にテレワーク月間に参加し、希望する従業員がテレワーク体験をしました。ICT(情報通信技術)を活用し、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方とされるテレワークは、従業員が働き方を考えるきっかけと捉えています。



セミナーの様子

#### 男性社員向け育児との両立セミナーを開催

2018年9月にワークライフバランスの理解促進と男性従業員が時間制約のある働き方を実践することを狙いとしたセミナーを開催しました。共働きによる子育てを経験した社長の前田も登壇し、子育てで得た経験や学びを従業員に伝えました。

### 投資家とのコミュニケーション

#### 個人株主様向け見学会を実施しました

株主の皆様へ、当社の事業について一層のご理解をいただくため、当社が設計から運営までを手がける武蔵野クリーンセンターと、当社 袖ヶ浦事業所にて見学会を行いました。

#### 第1回 武蔵野クリーンセンター見学会 (環境プラント事業)

開催日 2018年9月7日(金)  
 開催場所 武蔵野クリーンセンター  
 参加者数 約30名  
 (株主様及び同伴者様)



可燃ごみピットからクレーンがごみをつかみ、ごみ投入ホッパへ運ぶ様子を見学しました



今回の見学会では特別に、ごみ収集車が集めてきたごみをピットへ投入するプラントホームも見学しました

#### 第2回 袖ヶ浦事業所見学会 (コンプレッサ・タービン事業)

開催日 2018年10月22日(月)  
 開催場所 当社 袖ヶ浦事業所  
 参加者数 約30名  
 (株主様及び同伴者様)



袖ヶ浦事業所



組立や試験場など、実際に社員が働いているモノづくりの現場を見学しました

#### <参加者様のご感想>

- ・市街地にある処理場で臭気などの環境面でも問題なく素晴らしい。(70代 男性)
- ・最新式のクリーンセンターに荏原の技術がいかされていることに喜びを感じた。(60代 女性)
- ・誌上だけでは分かりにくい工場の内部も、今回の見学の機会がもてよかった。(80代 女性)
- ・普段見ることのできない工場内で、大きな機械に圧倒されました。(60代 女性)

個人株主様向け 春の会社説明会のお申し込みは裏表紙へ!

#### 機関投資家向けESG説明会を実施しました

当社が目指すESG経営とその進捗状況についてご理解いただくことで、今後のESG経営に関するエンゲージメントを高めることを目的とし、機関投資家の皆様を対象に約1時間半の説明会を開催しました。

開催日 2018年12月17日(月)  
 開催場所 AP東京八重洲通り  
 説明者 代表執行役社長 前田  
 参加者数 約40名



多くの機関投資家の皆様にお集まりいただき



質疑応答の様子

#### IRメール配信サービスを開始しました

このたび「IRメール配信サービス」を開始しました。本サービスは、当社のステークホルダーの皆様へ、当社からお知らせする適時開示情報やニュースリリース等のIR情報をタイムリーにお伝えするため、事前にご登録いただいた方のメールアドレスに新着情報掲載のお知らせをお届けするサービスです。当社の日々の活動についてご理解を深めていただくため、この機会にぜひご登録ください。皆様のご利用をお待ちしております。



[https://www.ebara.co.jp/about/ir/ir\\_mail/index.html](https://www.ebara.co.jp/about/ir/ir_mail/index.html)

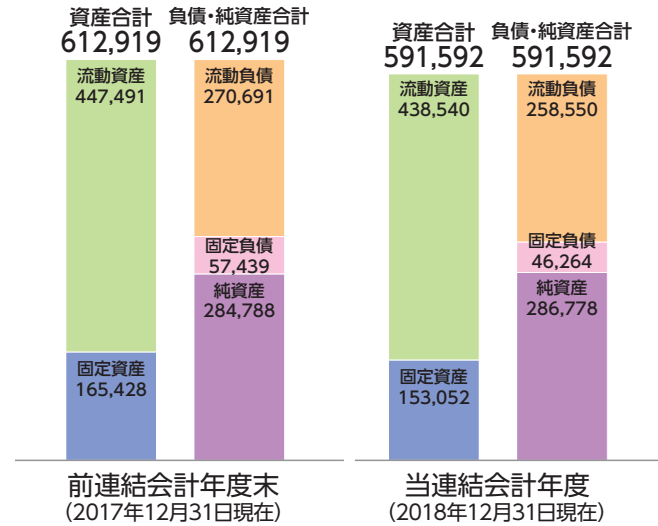


# Financial Information

財務情報 (2018年12月31日現在)

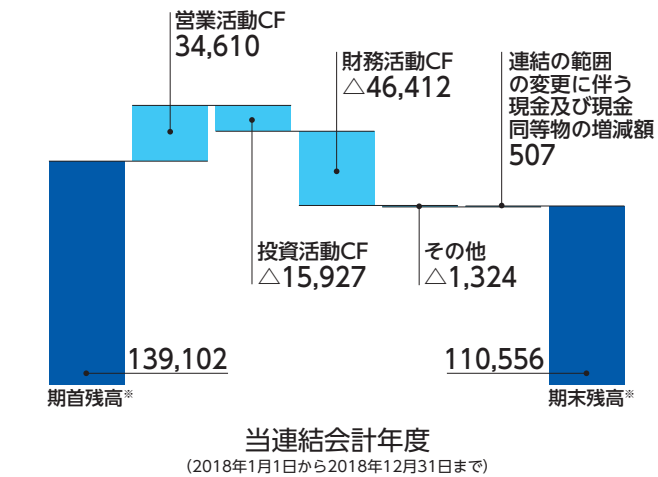
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



※「期首残高」及び「期末残高」は現金及び現金同等物の残高

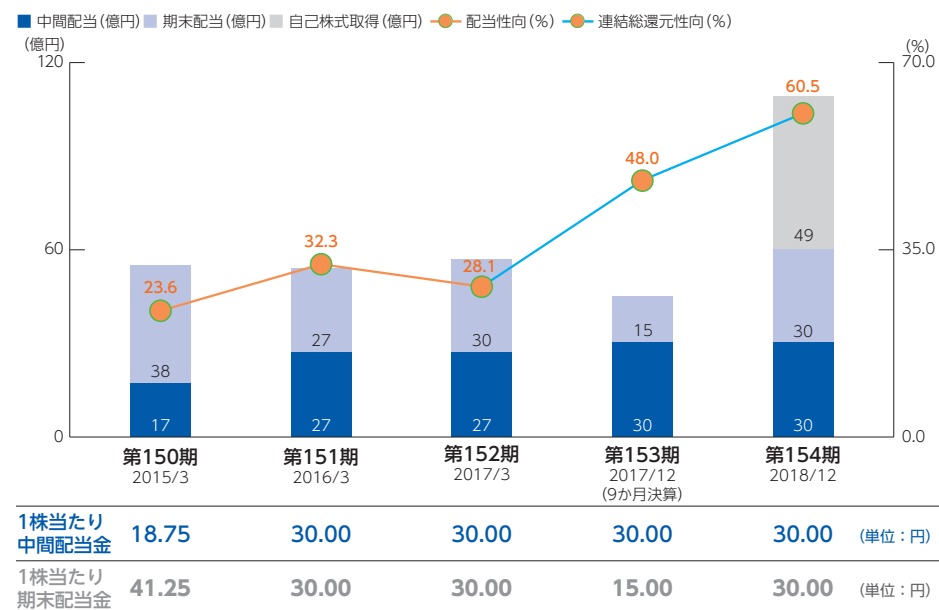
## 株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針です。

当期の期末配当金については、1株当たり30円とさせていただきます。

※当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。右記のグラフでは、過去4年に遡って比較できるように第150期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。

### 【ご参考】株主還元の推移



## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2017年 4月 1日から 2017年12月31日まで	当連結会計年度 2018年 1月 1日から 2018年12月31日まで
売上高	381,993	509,175
売上原価	285,261	376,021
売上総利益	96,732	133,154
販売費及び一般管理費	78,616	100,672
営業利益	18,115	32,482
営業外収益	937	2,629
営業外費用	2,523	3,830
経常利益	16,529	31,281
特別利益	3,561	1,205
特別損失	1,537	5,183
税金等調整前当期純利益	18,554	27,303
法人税、住民税及び事業税	6,324	7,148
法人税等調整額	1,908	468
当期純利益	10,322	19,685
非支配株主に帰属する当期純利益	790	1,423
親会社株主に帰属する当期純利益	9,531	18,262

# Corporate Information

企業情報 (2018年12月31日現在)

## 会社概要

商号 株式会社荏原製作所  
 本社所在地 〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号  
 電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)  
 創業 1912年(大正元年)11月  
 資本金 790億円  
 従業員数 3,921名(連結16,556名)  
 関係会社 子会社90社(うち連結子会社60社) 関連会社6社

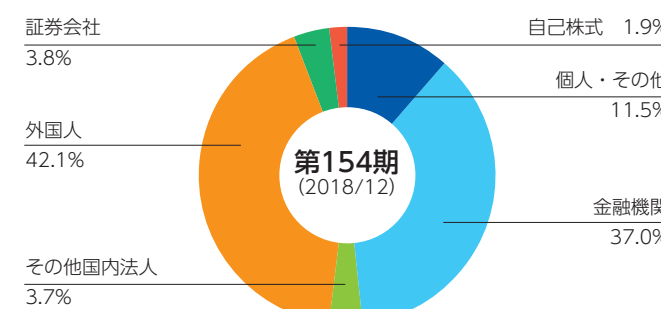
## 株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株  
 発行済株式の総数 101,957,853株  
 株主数 22,234名  
 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,347	10.3
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	7,961	8.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,536	6.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	4,189	4.2
全国共済農業協同組合連合会	2,054	2.1
株式会社みずほ銀行	2,000	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,737	1.7
HSBC TRINKAUS AND BURKHARDT AG RE: DE-CLTS A/C RE AIF	1,651	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	1,537	1.5
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,527	1.5

(注)当社は、自己株式を1,933千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

## 所有者別株式分布状況



住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取・買増請求、マイナンバーのお届出等の各種お手続きについて	未受領の配当金のご照会・受取について
<p>●証券会社の口座を開設されている株主様 お取引のある証券会社へお申し出ください。</p> <p>●特別口座に当社の株式が記録されている株主様 当社の特別口座管理機関である三井住友信託銀行へお問い合わせください。</p>	<p>三井住友信託銀行へお問い合わせください。                      〒168-0063                      東京都杉並区和泉二丁目8番4号                      三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                      ☎0120-782-031 (フリーダイヤル)</p>

※特別口座に株式が記録されている株主様は、証券会社に口座を開設し口座振替のお手続きをご検討くださいますようお願いいたします。(特別口座とは、株券電子化に移行されるまでに株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主様の権利を保護するために当社が開設した口座です。)

## 役員

取締役	執行役
取締役会長 前田 東一	代表執行役社長 浅見 正男
取締役 浅見 正男*	執行役専務 大井 敦夫
社外取締役 宇田 左近	執行役専務 野路 伸治
社外取締役 国谷 史朗	執行役専務 戸川 哲二
社外取締役 澤部 肇	執行役専務 木村 憲雄
社外取締役 山崎 彰三	執行役専務 沖山 喜明
社外取締役 大枝 宏之	執行役 長峰 明彦
社外取締役 橋本 正博	執行役 宮下 俊彦
社外取締役 西山 潤子	執行役 勝岡 誠司
取締役 藤本 哲司	執行役 喜田 明裕
取締役 津村 修介	執行役 永田 修
※は執行役兼務	執行役 中山 亨
	執行役 曾布川 拓司

## 株式事務

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
基準日	12月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	12月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 <a href="http://www.ebara.co.jp">http://www.ebara.co.jp</a> ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	6361
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部



個人株主様向け 秋の見学会は  
9月発行のThe EBARAにて  
ご案内いたします。お楽しみに!

# 春の会社説明会のご案内

株主総会にご出席いただけない個人株主様に、当社をより深くご理解いただくためのイベントを開催いたします。この機会にぜひご応募ください。



応募締切 **4月19日(金)** ※はがきの場合は当日消印有効

## 広島開催

日時 2019年 **6月13日**  
10:00~12:00(予定)

集合・解散 JR広島駅周辺会場

募集人数 30名

## 名古屋開催

日時 2019年 **5月23日**  
10:00~12:00(予定)

集合・解散 JR名古屋駅周辺会場

募集人数 30名



## 応募方法

対象者

2018年12月31日現在、当社株式を  
100株以上保有の個人株主様

参加費

無料(ただし、集合・解散場所までの往復費用は  
各自の負担とさせていただきます)

郵便はがき又は当社WEBサイトのいずれかにてご応募ください。

### ●はがき記入要領●

**郵便はがき**  
郵便はがきに  
右記の必要事項を記入のうえ、ご応募ください。

62円  
切手

〒144-8510  
東京都大田区羽田旭町11-1  
株式会社荏原製作所  
経営IR課 SR担当  
個人株主様向け  
会社説明会係

### 株主様

- ①郵便番号
- ②ご住所
- ③お名前(ふりがな)
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥参加希望開催場所  
(名古屋または広島)

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうえ、当選発表はご当選者様への発送をもって代えさせていただきます。
- 複数枚でのご応募はご遠慮願います。
- 説明会中の録音及び録画はご遠慮ください。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更又は中止となる場合がございます。その場合はご当選された株主様にご連絡させていただきます。
- 当社が説明会で撮影した写真はホームページや株主様向け報告書、社内報等に掲載・使用させていただく場合がございますのでご了承ください。

### 個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様の個人情報は、本説明会の実施以外での目的では一切使用いたしません。

**WEB  
サイト**

[https://www.ebara.co.jp/  
contact/ir\\_kengaku/period.php](https://www.ebara.co.jp/contact/ir_kengaku/period.php)

右記QRコードから  
ご応募ください。



お問合せ先

株式会社荏原製作所 経営IR課 SR担当  
TEL: 03-3743-6111(ダイヤルイン代表)  
9:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)



株式会社 荏原製作所

発行：ガバナンス推進部 経営IR課  
〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号  
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

